

李禹煥美術館 2019年新作 屋外彫刻《無限門》公開のお知らせ

「李禹煥美術館」（直島、香川県）では、2019年7月19日より、これまで一部公開されていたアーティスト・李禹煥氏による彫刻作品《無限門》（2019年）を全面公開いたします。公開に伴い、《無限門》のアーチの下を歩くことが可能となります。

《無限門》は長さ25メートル・幅3メートルのステンレス板と、同じ長さ・幅、素材のアーチ、そしてそれを支えるように置かれた2つの自然石からなる作品です。氏によるアーチを用いた作品は、恒久展示としては今作が初となります。

美術館が位置するのは「倉浦」という小さな谷間。「小さいけれども記憶に残るようになるためには」一氏がたどり着いたのがアーチでした。

作品を囲む木々や山々、ゆるやかな弧（アーチ）の先に広がる、穏やかな瀬戸内の風景。《無限門》はそれ自体のスケールもさることながら、そうした「倉浦」の空間性をより生き生きしたものにしてくれたといえます。

アーチの下を通ることで見えるもの、感じるもの一空の大きさ、海の青さ、あるいは山に吸い込まれていくような感覚—実際に体感することで湧いてくる、そうした「無限性」を感じていただければと思います。



写真：山本糾

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 末廣・栗原

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011

E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <http://www.benesse-artsite.jp/>

ベネッセアートサイト直島について

「ベネッセアートサイト直島」は、1987年以来、瀬戸内に浮かぶ直島、豊島、犬島の3つの島を舞台に、株式会社ベネッセホールディングスと公益財団法人 福武財団が展開しているアート活動の総称です。

瀬戸内海の風景の中、ひとつの場所に、時間をかけてアートをつくりあげていくこと—各島の自然や、地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出していくことが「ベネッセアートサイト直島」の基本方針です。

各島でのアート作品との出会い、日本の原風景ともいえる瀬戸内の風景や地域の人々との触れ合いを通して、訪れてくださる方がベネッセグループの企業理念である「ベネッセ—よく生きる」とは何かについて考えてくださることを願っています。

そして、活動を継続することによって地域の環境・文化・経済すべての面において社会貢献できるよう、現代アートとそれを包含する場である地域がともに成長し続ける関係を築いていきたいと考えています。

李禹煥美術館について

現在ヨーロッパを中心に活動している国際的評価の高いアーティスト・李禹煥と建築家・安藤忠雄のコラボレーションによる美術館です。

半地下構造となる安藤忠雄設計の建物のなかには、李禹煥の70年代から現在に到るまでの絵画・彫刻が展示されており、安藤忠雄の建築と響きあい、空間に静謐さとダイナミズムを感じさせます。

海と山に囲まれた谷間に、ひっそりと位置するこの美術館は、自然と建物と作品とが呼応しながら、モノにあふれる社会の中で、我々の原点を見つめ、静かに思索する時間を与えてくれます。

アーティストプロフィール 李禹煥(リウファン)

1936年大韓民国慶尚南道生まれ。1956年来日。1961年日本大学文学部哲学科卒業。1960年代から1970年代にかけて現れた「もの派」と呼ばれる現代美術の動向に主導的な役割を果たす。多摩美術大学名誉教授。世界文化賞絵画部門受賞(2001年)。

主な展覧会：2001年「Lee Ufan」展(ボン市立美術館・ドイツ)、2005年個展「李禹煥 余白の芸術」展(横浜美術館)、2007年「Resonance」展(ヴェネチアビエンナーレ・イタリア)、2008年「LEE UFAN」展(ブリュッセル王立美術館・ベルギー)、2011年「無限の提示」(グッゲンハイム美術館、アメリカ)、2014年「李禹煥」展(ベルサイユ宮殿、フランス)など。

建築家プロフィール 安藤忠雄(あんどうただお)

1941年大阪生まれ。1969年安藤忠雄建築研究所設立。建築家、東京大学名誉教授。プリッカー賞(1995年)、UIA(国際建築家連合)ゴールドメダル(2005年)、文化勲章(2010年)、芸術文化勲章コマンドゥール(フランス、2013年)をはじめ国内外で受賞多数。

代表作：1989年「兵庫県立こどもの館」、「光の教会」(大阪)、1992年「ベネッセハウス」(直島)、2000年「淡路夢舞台」(淡路島)、2002年「フォートワース現代美術館」(アメリカ)、2004年「地中海美術館」(直島)など。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <http://benesse-artsite.jp/contact/press/>